

第 20 回 JCHO高岡ふしき病院地域協議会（議事録）

日 時 令和 7 年 2 月 27 日（木）15 時 30 分～16 時 10 分

場 所 JCHO 高岡ふしき病院 2 階応接室

各委員

医師会：一般社団法人 高岡市医師会

宇野内科医院 院長

宇野 立人

行 政：高岡市福祉保健部健康増進課長・保健センター所長

竹田 裕子

利用者：社会福祉法人伏木会理事長

JCHO高岡ふしき病院支援の会 会長

山崎 泰邦

（以上、敬称略）

病 院：高岡ふしき病院 院長

高嶋 修太郎

同 副院長

宮崎 幹也

同 副院長

和田 攻

同 看護部長

諸江 由紀子

同 事務長

江川 登（進行）

内 容

高嶋院長から、第 20 回地域協議会開催の挨拶があり、協議会の開催趣旨（独立行政法人地域医療機能推進機構協議会設置要綱第 5 条）により、高嶋院長が議長となり議事に入った。

1. 院長挨拶

本日は、ご多忙の中ご参集頂き誠にありがとうございます。この会議は独立行政法人地域医療機能推進機構法第 20 条にて定められた地域協議会です。医師会、医療行政、地域住民を代表する方々から広くご意見を伺い、地域のニーズに応えた病院運営に努めさせていただくためにお集まりいただいております。どうぞよろしく願いいたします。

2. 告事項 JCHO高岡ふしき病院の現状と今後（院長）

スライドにて説明（省略）

3. 協議

① 行政から

(行政より)

各病院や医師会等からも話を伺う機会があるのですが、医師確保の必要性和救急医療体制が課題と感じている。

本市では、高岡市急患医療センターで小児科、内科、外科の一次救急を実施している。それ以外の診療科は、在宅当番医制で一次救急を実施しているが、その継続が難しくなるという話しも出てきている。高岡市の公的 4 病院で二次救急の輪番体制を組むのも大変だとも聞いている。高岡ふしき病院は単独の二次救急ではないが、伏木地区などの高岡ふしき病院が「かかりつけ医」になっている方や他の公的病院からの下り搬送を受け持っているという状況だと思います。今後とも救急体制へのご協力をお願いいたします。

来年度から带状疱疹の定期予防接種が始まります。対象は 65 歳の方になりますが、今後 5 年間は、65 歳、70 歳、80 歳・90 歳・95 歳・100 歳の方々も対象となります。年度末から 4 月上旬にかけて対象者に案内を送付する予定となっていますので、ご相談等の対応をよろしく願いいたします。今年度から始めた任意助成制度により、すでに带状疱疹ワクチンを接種された方には案内しないため、案内が届かない方もおられると思いますのでよろしく願いいたします。

(病院：事務長より)

コロナワクチン接種の受診率はどのくらいでしたか。

(行政より)

コロナワクチンについて、本市では対象者のうち約 2 割程度の接種に留まりました。理由として、自己負担が発生したことや予防接種をした後の副反応の方が実際にコロナ罹患した時より辛いという方もおられるというお話も伺っているので、そういったところから接種率が低くなったのではないかなと思っております。

(病院：事務長より)

わかりました。ありがとうございます。

② 医師会から

(医師会より)

医師会の意見より同じ地域で医療を行っている者として地域住民の意見と話しが近くなるかもしれませんがご了承願います。また、前回の

地域協議会にて依頼させていただいた診療科情報の提供について迅速に対応いただきありがとうございました。現在、若干減ってきてはいますが、コロナ罹患者でサチュレーションが低い重症な患者さんを直ぐに紹介入院させていただくなど対応いただき、とても助かっています。

(病院：事務長より)

ありがとうございます。今後もよろしく願いいたします。

③ 地域・患者の立場から

(利用者より)

高岡ふしき病院については、ここにあるだけで安心っていう存在なのかなと思っております。大変心強くありがたく思っています。ただ、キリがない話しになりますが、一部の利用者さんから小児科受診後に皮膚科等の診療していない曜日が多い診療科を紹介された時に1日で診療が完結しないということが、不便な面があるというお話しも伺っています。

私どもの施設の話になりますが、施設職員の教育や情報交換、施設の入所者さんも体調が悪くなったりした時に入院させていただいたり、当施設の職員も毎日のように高岡ふしき病院に来院させていただき情報交換など連携を強くしており、大変助かっています。

現在、高岡の北部地区で行っている「高岡ふしき地域包括ケアネットワーク」については、今より充実させ高岡のモデル地区になれば良いなという風に思っています。まだ、手探り状態ではありますが、さらに充実させていくために高岡ふしき病院には引っ張っていただければ良いと思っており、今後もお互いに協力し合いながら頑張っていければと思っていますのでよろしくお願いいたします。

(病院：事務長より)

先生方や地域の皆様等に本当に御世話になっているので、今後も是非よろしくお願い致します。

④ 管理者から

(病院：宮崎副院長より)

この地域は特に高齢者の1人暮らしや、なかなか家族が介護出来ない方など非常に多い。そういう方を見ていくという意味では、様々な病院が協力し合わないと難しいと思いますし、その辺は病院機能を維持できるようにしていきたいと思っていますのでよろしくお願い致します。

(病院：和田副院長より)

心不全の方々や高齢者に対して早めに外来でスクリーニングを行い運動や食事という面からフレイル予防していきたいと思っています。ふしき苑の介護施設の方々とは、以前一緒にフレイル予防に関してイベントに参加させて頂き、その際に上手に言葉で誘導しながら運動を取り入れ、患者さんへのケアをよくしているなど非常に興味しました。当院の他職種のスタッフとも勉強させて頂きたいと思っていますので、その際はぜひご鞭撻をよろしくお願い致します。

(病院：看護部長より)

今年度、ふしき苑の方々に摂食嚥下認定看護師を派遣し、退院後の状態や施設入所中で飲み込みがうまくいかなくなっている方々に認定ナースの立場から施設スタッフと一緒に誤嚥しないための対策を考え、なるべく誤嚥肺炎を起こさないように取り組んでいます。また、病院を退院した後も入退院を繰り返さず施設で過ごす時間が長くなるように取り組み、それでも悪くなったら早めに受診し、時には入院し初期治療をするということを行っています。

(利用者より)

当施設の歯科衛生士が2週間に1回程度しか来ませんが連携しながら、実施いただいたと思っています。今後もよろしくお願い致します。

(病院：看護部長より)

今後もよろしくお願い致します。

(病院：事務長より)

高岡伏木地域は高岡地域の中でも高齢化が進んでいる。今回の高岡ふしき地域包括ケアネットワークでは高岡北部地域を中心に、開業医の先生方等や行政からの支援を頂きながら運営させていただいています。今後も地域一体となっていけるような病院の形を作っていきたいと思っていますので、これからもご支援ご協力をお願い致します。

4. その他

次回の開催予定日時の確認

日程：第21回 令和7年7月24日(木) 15:30～

場所：JCHO高岡ふしき病院 2階応接室

5. 閉会挨拶（宮崎副院長）

本日はお忙しい中お集まり頂きまして誠にありがとうございます。来年度からは、病院の参加者から1人変わりますが、必ず皆でまとまって頑張っていきたいと思っておりますので、今後ともよろしく申し上げます。